



なごしのおおはらい
すこやか
夏越 大祓をして
健康に夏を過ごしましよう

ご家族皆さまへ茅輪神事と夏越大祓をして
清々しく健康に夏を過ごしますよう
(神事は六月三十日午後五時半に行います)
形代は社務所で取り扱っておりますので
ご希望の方はお気軽にお申し出下さい
(初穂料 一家族様一千円)

おおはらい かたしろ
大祓形代

大祓の仕方

- 1.形代に息を3回吹きかけます。
 - 2.体を拭くようにして、ご自身の罪・穢れを形代に移します。
 - 3.形代を神社に納め、祓います。
- ※形代にお名前等を書いてもかまいません

茅の輪神事について

神代の昔、素戔鳴尊(すさのおのみこと)が南海の方へお出でになる途中、ある處でお泊まりになろうとして、土民の蘇民将来(そみんしょうらい)、巨旦将来(こたんしょうらい)という兄弟に宿を求められました。弟の巨旦将来は裕福な身であったにも拘わらず宿を拒んだのに対し、兄の蘇民将来は貧しい身でしたが素戔鳴尊をお泊めし、御待遇申し上げました。その後年を経て素戔鳴尊は再び蘇民将来の家を訪れ、『もし、天下に悪疫が流行した際には、茅を以て輪を作り、これを腰に着けていれば免れるであろう』と教えられました。この故事に基づき、蘇民将来と書いて門戸に貼れば災厄を免れるという信仰が生じ、祓いの神事に茅輪を作つてこれをくぐり越えるようになりました。